

PRECISION IN EVERY DETAIL

GI-5200

イオンクロマトグラフ

多様な検出器とグラジエント構成で、分析の選択肢を拡大。



PEEK

耐酸・耐アルカリ流路

100 Hz

導電率検出のサンプリング

4液グラジエント

構成に応じて選択

専門分析装置から、実験室全体のソリューションへ。

製品カタログ・V0.0.7

01

PRODUCT ADVANTAGES

イオン分析の要件に応じた柔軟な組み合わせ。

製品紹介

GI-5200 は、陰イオン・陽イオン用の2検出器と2系統同時運転をオプションで構成できます。電流検出器と導電率検出器の組み合わせにも対応します。高性能な4液低圧グラジエント PEEK ポンプにより、日常のイオン分析から特殊試料まで対応します。

01

オール PEEK 流路

ポンプヘッド、6ポートバルブ、全流路に PEEK を採用し、酸・アルカリへの耐性を確保します。

02

バイポーラパルス導電率検出

レンジ切替を要しない自動レンジ調整。サンプリング周波数 100 Hz。

03

一体型温度制御

検出器、カラム、サプレッサーをまとめて温度制御し、主要な中国製・輸入カラムに対応します。

04

モジュールの組み合わせ

オートサンプラー、溶離液ジェネレーター、UV 検出器、電流検出器を選択できます。陰・陽イオンの2系統同時分析、または電流・導電率の同時検出を構成できます。

05

多検出器対応データステーション

独自の中国語クロマトグラフィーデータステーションが、異なる検出器の同時運転と用途に応じた合理的なカスタマイズに対応します。

06

4液低圧定流量ポンプ

低脈動 PEEK 製2ピストンポンプが4液をオンライン混合してグラジエント溶離を行います。精密ステッピングモーターで精密ボールねじを駆動し、信頼性、安定性、耐久性を確保します。原資料記載の特許番号：2016103131422。

07

自動サンプリングはオプション

2 mlまたは10 mlのバイアルに対応します。標準シリンジは 250 μ lで、他容量はオプションです。注入量補正機能を備えています。

02

DETECTORS & APPLICATIONS

一般的なイオンから、専門的な分析対象まで。

- 第三者検査
- 食品
- 産業
- 環境保護
- 疾病予防管理
- 上下水道
- 化学工業
- 鉱業・冶金

01

導電率検出と電流検出

アイソクラティックまたはグラジエント分析により、一般的な陰・陽イオン、I⁻、CN⁻、S²⁻ に対応します。実際の検出器と分析方法を適切に選択してください。

02

低分子・生体関連分析

原資料には、低分子有機酸、糖、アミノ酸の高感度グラジエント検出が記載されています。

03

UV 検出による拡張

UV 検出器の追加により、2検出器測定と紫外吸収を持つ対象成分の同時分析が可能になります。

04

主要部品

原資料には、ボールねじ駆動の4液低圧 PEEK ポンプ、輸入電動6ポートバルブ、バイポーラパルス導電率検出器、電流検出器、精密オートサンプラーが記載されています。

構成項目	原資料の記載
2系統システム	陰・陽イオンの2系統同時運転はオプション
検出器の組み合わせ	導電率・電流・UV 検出器を要件に応じて選択
試料バイアル	2 mlまたは10 ml
シリンジ	標準250 µl、他容量はオプション
注入補正	注入量補正機能を内蔵

03

TECHNOLOGY & COMPANY

液体・イオンクロマトグラフィーの継続的な開発。



原資料掲載の企業イメージ図

メーカー概要

通用（深圳）儀器有限公司は2012年に設立され、液体クロマトグラフの研究、設計、製造、販売を行っています。技術チームには博士・修士修了者や上級エンジニアが在籍しています。

- 2015年：対話型液体クロマトグラフィー教育・実習システムを開発し、VRによるシミュレーション教育を提案。
- 2016年：2つのリニアモーターで精密ボールねじを駆動する定流量送液システムを導入し、イオンクロマトグラフィーに応用。
- 2018年：インテリジェントな二次元液体クロマトグラフィーを導入し、直流、パルス、積分型の電流検出モードを開発。
- 2019年：治療薬濃度分析用の専用装置と複数の分析方法を開発し、関連分析に二次元イオンクロマトグラフィーを応用。

このページはメーカーの過去の資料を要約したものです。これらの成果を知時節の自社開発実績として表示するものではありません。

04

QUALIFICATIONS & PATENTS

メーカーの資格・認証と特許。

産学連携と技術協力

原資料には大学、研究機関、多国籍企業との技術協力が記載され、2019年末までの特許出願件数は40件超とされています。



証明書の名義人、文言、日付は原資料のまま保持しています。対象範囲と有効性は、証明書および案件文書で確認してください。